

令和4年度 「極意」伝承道場

○指導者の教育観・授業観・子ども観、具体的な教育活動の取組方法などが学べます。

○道場の仲間と教育について話し合うことができます。



1年後には**教師としての質の高まり**を感じることができます！

★「極意」伝承道場 指導者からのメッセージ

学校へ配付しました「極意」伝承道場のご案内には記載しきれなかった内容です。受講したい講座を見つける参考にしてください。

講座番号	所属学校名	指導者氏名	指導領域	道場の内容です	こんな先生におすすめです	対象年齢や教職年数
講座1	御代田町立御代田中学校	林田 聡子	音楽・授業づくり	新しい教科書を使って教材化を考えたり、評価方法を考えたりします。一緒に授業づくりを考えていく講座です。	・教科書や学習評価の方法が変わった今、心機一転自分の授業を見直そうと考えている音楽の先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座2	東御市立滋野小学校	柳原 瑞恵	総合的な学習の時間・学級づくり授業づくり	子どもと共に楽しむ総合的な学習の時間を通して、授業づくり・学級づくりの支援のあり方を一緒に考えていく講座です。	・子どもたちが生き生きと活動をする姿を見たいと願う先生方 ・実践経験をお持ちの先生方	教職10年目ぐらいまでの先生におすすめ
講座3	諏訪市立城南小学校	濱 秀彦	学級経営	学級開きに何をしたらいいのか。高学年女子とどうやって接していったらいいのか。クラスが荒れないようにするにはどうしたらいいのか等をお伝えできればいいなあと思っています。	・学級経営に悩んでいる先生方 ・高学年の女子の指導が難しいと感じている先生方 ・毎日楽しく子どもたちと過ごしたいと思っている先生方	教職5年目ぐらいまでの先生におすすめ
講座4	宮田村立宮田小学校	富本 智子	地域学習	子どもたちひとりひとりが願いをもって地域に働きかけていく姿を大切にしています。地域とともに歩む子どもたちの姿をどう見守り応援していくことができるかを考える講座です。	・子どもたちの願いやつぶやきを大切に地域での学習を進めていくことを共に考えてくださる先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座5	飯田市立高陵中学校	大澤 幸弘	生徒指導	感覚に頼る指導から脱却し、理論に裏付けられた、人間味ある生徒指導を一緒に考えていく講座です。	・子どもとの距離を感じ、教室に行くことに少し抵抗を感じている先生方 ・法定研修、自主研修など、どうせやるなら自分磨きの時間にしたい先生方	教職10年目ぐらいまでの先生におすすめ
講座6	南木曾町立南木曾中学校	外垣 秀毅	保健体育・授業づくり	「中学校の保健授業から先生が消える!?」を目指してみませんか?運動が苦手な子ども得意な子ども、体育の授業が楽しみになる教材開発と授業展開を一緒に考えましょう。	・保健の教材開発に興味がある先生方 ・つつい教えずぎてしまう先生方 ・ご自身が授業を楽しむことができている先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座7	安曇野市立豊科東小学校	工藤 弘	生徒指導	最先端の生徒指導方法について紹介し、先生や子ども達が楽しく過ごせる学校・学級作りを一緒に考えます。主に不登校・問題行動の予防や早期対応を扱います。	・インクルーシブな学級経営や効果的な生徒指導に興味がある先生方 ・幸せな空間作りに興味を持っていただける先生方	ZOOMも併用したいと思っています。 年齢・教職年数は問いません。
講座8	白馬村立白馬中学校	吉岡 伸	英語学習・授業づくり	言語活動の中で、生徒が自分たちで、また教師とやり取りをしながら表現を豊かにしていく授業を一緒に考える道場です。	・間違いを恐れず、表現することを楽しむ子どもに出会いたいと思う先生方	教職5年目ぐらいまでの先生におすすめ
講座9	千曲市立東小学校	西澤 雄司	小学校理科・授業づくり	理科学習におけるICTの有効的な活用方法、小3～小6までの実験・観察の準備や実際の授業について、お互いにアイデアを出し合いながら考えていく講座です。主にZOOMによるオンラインでの実施を考えています。	・学級担任をして理科の授業を行っている先生方 ・理科専科でICT活用に悩んでいる先生方 ・すでにICTを理科学習に取り入れている先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座10	須坂市立相森中学校	小林 稔	保健体育・授業構想	特別支援の観点から、全体指導と個別支援のアイデアをどれだけ実践できるか、一緒に、自ら振り返る機会にしたい。	・授業や教室に気になる児童生徒がいる、怒らずほめながら伸ばしたい、教材など面白そう工夫を共有したい先生方	教職10年目ぐらいまでの先生におすすめ
講座11	飯田市立城南中学校	青木 勇治	図工美術・授業づくり	ICTも含め、子どもの発想力を刺激するアイテムを実際に試してみ、授業での活用について考えていく講座です。	・図工の授業で悩んでいる先生方 ・教材開発に意欲のある先生方 ・図工美術でのICT活用をめざしている先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座12	長野市立川中島小学校	牧内 和美	特別支援教育	その子らしさに着目した支援をどう考える?チーム支援をどう作る?等特別支援教育に関する悩みを一緒に考えましょう。	・子どもの困り感に気づきたい、寄り添いたいという願いを持っている先生方	年齢・教職年数は問いません。

講座13	長野市立 篠ノ井東中学校	吉澤 孝志	不登校生の支援	単に不登校生や不登校傾向の児童生徒を学校に戻すだけではなく、社会的な自立の応援する支援について考える道場（講座）です。	・支援会議をどう開くか、支援会議の内容や方向性に悩んでいる先生方 ・スクリーニング会議の開き方に戸惑っている先生方	年齢・教職年数は問いません。
講座14	松本市立 安曇小学校	横山 享司	社会科・授業づくり	子どもが本気で対話しながら社会事象の本質にせまる授業づくりをめざす道場です。徹底した素材研究から単元展開を構築し、授業分析まで行います。	・「日頃の社会科の授業がうまくいかない。でも、主体的・対話的な授業をしたい！」という意欲のある先生方	年齢・教職年数は問いません。

★「極意」伝承道場に関する Q&A

Q1：「極意」伝承道場の魅力は何ですか？

A：令和3年度の受講者の多くが「指導者から学べること」「指導者に自分の取組について相談できること」「受講者同士が教育について議論できること」「年間複数回同じメンバーで和気藹々とした中でも、真剣に、貪欲に学ぶことができること」を良さとして挙げています。

Q2：すべての回に参加できないと申し込みはできませんか？

A：参加できない回があっても、申し込みはできます。欠席する回については、指導者にご相談ください。

Q3：指導者が中学校の先生ですが、小学校の先生が受講を申し込んでもよいでしょうか、教科等の専門外でも申し込んでよいでしょうか？

A：小学校中学校の学びのつながりの理解を深める意味でも大切なことだと考えます。申し込んでいただいて構いません。校種や専門性という縛りより、講座内容を大切に考えて、自分が学びたい講座を決めてお申し込みください。

Q4：「極意」伝承道場の開催日はどのように決まるのですか？

A：5月24日（火）15:00からオンラインで全体会を行います。その折に指導者から開催日を含めた内容の提案があります。最終的には指導者と受講者の合意で決めていただきます。受講者は5月24日（火）の会には必ず出席してください。

Q5：定員が1講座5名程度となっていますが、6名以上になると抽選になりますか？

A：応募者が6名以上になった場合は、指導者と相談させていただき、なるべく受講者を受け入れていただきます。令和3年度は受講者が10名の講座もありました。あまり多すぎる場合は信濃教育会が責任をもって抽選をさせていただきます。

Q6：参加申込書の欄にある「携帯電話番号」「メールアドレス」はなぜ必要なのですか？

A：受講者の「携帯電話番号」「メールアドレス」は指導者に伝え、連絡を取ることにのみ使用します。「メールアドレス」は信濃教育会と受講者が連絡を取る時にも使用させていただきます。受講者の情報は本講座以外のためには使用しません。

Q7：受講者が自分の授業を指導者に参観していただくことはできるのですか？

A：受講者の学校で「極意」伝承道場を開催して、その際、受講者の授業を参観していただくことも可能です。指導者にご相談ください。

Q8：二つの講座に申し込むことはできますか？

A：学びを深めたいというお気持ちは理解できるのですが、一つの講座に絞っていただければと思います。

Q9：受講したい講座の指導者が自分の学校の先生です。参加申込みができますか？

A：できます。校長先生に話をしといていただくとスムーズにいくかと思います。

Q10：「教職10年目ぐらいまでの先生におすすめ」と書いてある講座がありますが、その条件に沿わないと申込みはできませんか？

A：「おすすめ」は目安ですので、参考にさせていただくというだけで書いてあります。この条件に当てはまらない先生方も申込みいただけます。様々な年代の先生方が同じ講座にいるというのは、ある意味すごい強みだと思います。

Q11：指定研修の欄に「初任研」「キャリアアップ研修」とありますが、どういう意味ですか？

A：「極意」伝承道場の研修を「初任研」「キャリアアップ研修」の研修としてカウントできると県教委から許可をいただいております。該当者は〇印をつけて申し込みください。「初任研」「キャリアアップ研修」として是非ご活用ください。

Q12：令和3年度の「極意」伝承道場の実績を教えてください。

A：10名の指導者で合計で50名の受講者で開催しました。各講座は年間3回から7回の開催でした。新型コロナウイルスで中止になってしまった回がありました。年度末に受講者に感想を書いていただきましたが、満足度100%でした。

問い合わせ先 TEL 026-232-2470 か 026-232-2258 担当 清水秀明（研究調査部）まで